

 **今月の笑顔** 

検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♡ 91 人目

**特徴ある私の“○音”！？**

大手町周辺および大学病院の集配業務を担当させていただいています。検査センター周辺の担当であることや、至急業務が多いために、集荷をしていったん職場に戻り、検体を降ろしてからまた出掛けることが多く、時間に追われてついイライラすることもあります。けれども、そこは気分を落ち着かせ、スムーズな運転や検体運びができるように心掛けたいと思っています。

大学病院では、あの広い敷地内を多いときで 5～6 棟歩いて回ります。30 分くらい歩き続けることになり、とてもいい運動になります。私の足音には特徴があるようで、「足音で来たのがすぐわかるわよ。」とよく言われます。

まだまだ頼りない私ですけれども、これからも頑張りますのでよろしくお願いいたします。そして、何か御用があれば（なくても）いつでも声をかけてください。

♡ 92 人目

**『ムービング・スカルプチャー』**

先日、広島市現代美術館でパフォーマンスをする機会がありました。「現美を丸ごとムーブ・アート・スペースにしておこう」と、当日は県内外からパフォーマーが集まり、ジャンルは問わず、それぞれの表現を思い思いの場所で同時に展開して行きました。私たちは館外の「泉の階段」で、即興で作るダンス表現に挑戦しました。

衣装でもある手編みのワンピースを少しずつほどかれながら、引き寄せられたり離れたり、大きなキャンパスに絵を描くように動いていきます。時には観客もその絵の中に入り込み、それはとても不思議な空間を醸し出して行きました。

アートといえば私が担当している病理部門の薄切標本も、見ようによればとても芸術的です。その切片はいろんな色に染め分けられ、スライドを覗き込んだとき、現代アートに見えるような気がするのですが、私だけでしょいか？